



湖東 だより 第18号



心臓血管センター
湖東記念病院



ごあいさつ



副院長

馬淵 博

師走、何かと気ぜわしいこの頃となりましたが、皆様におかれましては御健勝のことと存じます。また、常日頃お力添えくださいまして、心から感謝しております。

心臓の血管が詰まる急性心筋梗塞は、冬に特に多く発症することは、よく知られている事実ですし、また、寒い風呂場に入るなどと言った寒さの刺激で、急性心筋梗塞や脳梗塞などの血管が詰まる病気をきたしやすいとも言われています。日本心血管インターベンション治療学会では、日本全国の929施設を対象に、およそ46万人の冠動脈治療データベースが作成されました。このうち、2011年から2012年にみられた、5万6863人のST上昇型と呼ばれる重篤な急性心筋梗塞の患者さんを対象に、治療された日の気温や、降水量と言った天候因子、そして、窒素酸化物やPM2.5といった大気汚染物質との関連を調べています。この結果、今まで言われているように、夏に比べ、寒い冬に急性心筋梗塞の発症は多くみられました。さらには、冬のうちでも、急に寒くなった3日後に、急性心筋梗塞が多くみられていることがわかりました。また、通年を通して、急な気温上昇がみられた日にも、急性心筋梗塞の患者さんが増えていました。急に寒くなった日の少し後に、急性心筋梗塞の患者さんが多くみられるということは、以前から病院の現場で噂されることはありましたが、科学的には証明されていませんでした。今回の研究結果をもとに、今後は充実した病院の体制を整え、急性心

筋梗塞を発症されてしまった方に、迅速な治療を提供することとともに、一般の方々にも、啓蒙することが出来たらと考えております。一般的には、PM2.5といった環境因子は、動脈硬化疾患の発症に関連していると言われていることも多いですが、今回の研究では明らかな関連は見られませんでした。日本では、大気汚染物質の濃度は、他国に比べ低い値を示しており、このため、明らかな関連が見られなかったのではと考えられています。

来年も素晴らしい年でありますように、心よりお祈り申し上げます。



High Bleeding Riskという概念



心臓血管センター長
武田 輝規

御承知の通り世界における人口の高齢化は大きな社会問題であり、日本でも2016年の時点で4人に1人（27%）が65才以上、8人に1人（13%）が75才以上と報告されています。当然のことながら、狭心症や心筋梗塞でカテーテル治療を受ける方も高齢化が進んできており、当院でカテーテル治療を受けた80才以上の患者さんは、10年前（2007年）19%であったものが、今年は28%まで増加しています。

近年の冠動脈ステントの進化により、ステント血栓症やステント再狭窄といった虚血性イベントは激減していますが、逆に抗血小板薬による出血性合併症を生じる事例が増加してきており、最近問題視されています。特に心房細動を合併した狭心症で抗凝固薬を併用する場合の薬剤選択と継続期間については、現在、様々な臨床試験が進行中であり、テーラーメイドな抗血栓療法を世界中で試行錯誤している状況でもあります。

そのような背景もあり欧州のガイドラインでは、従来1年以上行っていた2種類の抗血小板療法（DAPT）の推奨期間を、安定狭心症なら基本6ヶ月（心筋梗塞後は従来通り12ヶ月）、出血リスクの高い症例では3ヶ月も考慮すべきと改定しています。そのため最近では高齢者を中心とした出血リスクの包括的評価が話題となっており、様々な出血リスク因子をスコア化して、出血高リスク（HBR; High Bleeding Risk）症例を割り出す試みがなされてい

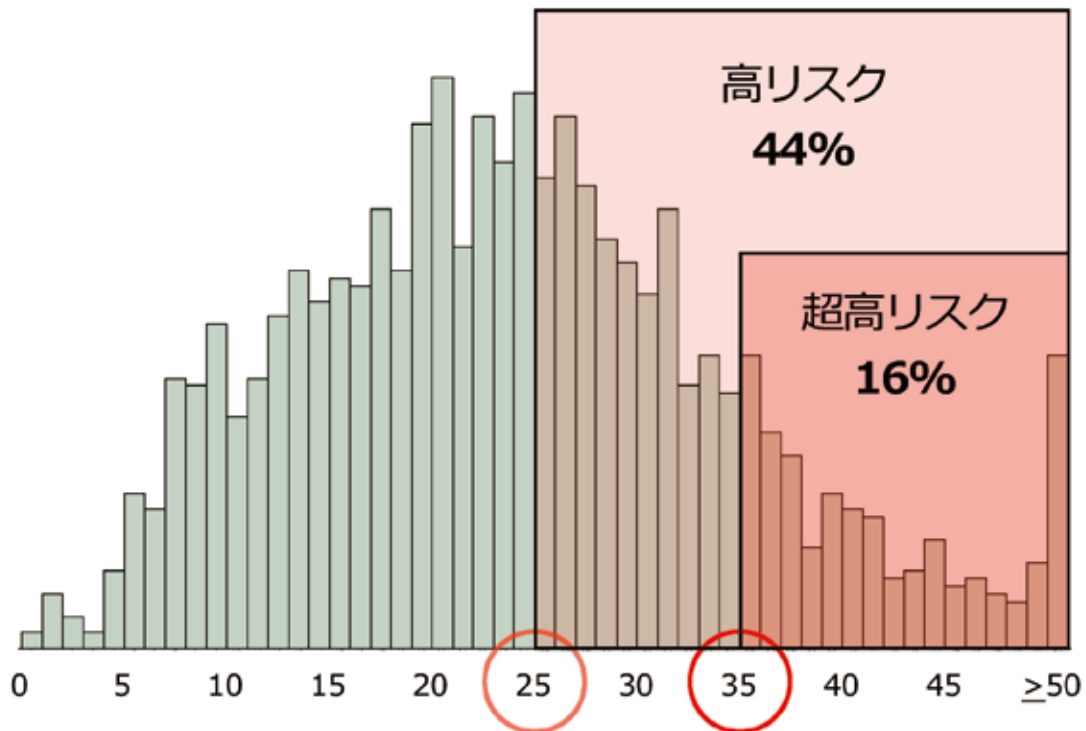
ます。HBRという言葉は数年後にはCKDなどと同様に一般的に使われるようになっていられるのかもしれませんが、現在様々なスコアが提唱されていますが、その一つにPRECISE-DAPTスコア（年齢、腎機能、貧血、白血球数、出血既往歴の5項目から算出（0-100点）、25点以上が出血の高リスク群）があります。当院でこの6年間に冠動脈ステントを留置した1747名で検討してみたところ、出血高リスク群に該当する患者さんは実に44%にも及びました。さらに、脳出血など大出血予測値が年率2%以上となる超高リスク群（35点以上）も16%も存在していることが分かりました。そしてステント留置後の予後を5年間（中央値4.1年）追跡してみますと、やはり高リスク群は有意に出血合併症の発症頻度が多く（2.5% vs 0.6%, $p=0.006$ ）、出血、虚血、全死亡の複合イベントでも予後不良（7.4% vs 1.8%, $p<.0001$ ）であることが分かりました。

抗血小板療法の安易な短縮化は慎重であるべきとも考えられますが、高齢者を中心とした出血リスクの非常に高い方に関しては、メリット、デメリットを考慮した包括的な判断がこれからは必要になってくると考えられます。

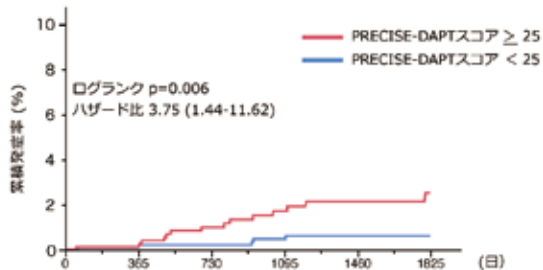
また御心配な患者様がおられましたら、いつでも当院へ御相談いただければ幸甚に存じます。今後とも何卒変わらぬ御指導の程宜しくお願いいたします。

PRECISE-DAPTスコア分布

湖東記念病院にて冠動脈ステント留置された1747患者（2010-2015年）

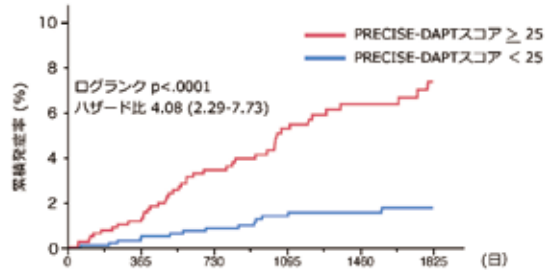


出血合併症

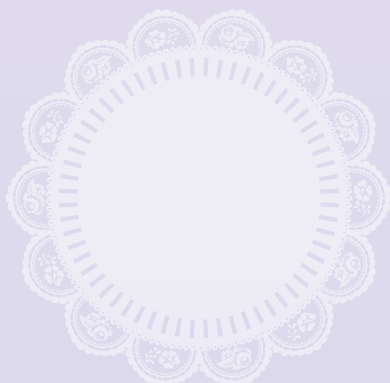


	イベント						
≥25	772	730	616	483	368	244	14
<25	975	942	821	669	527	378	5

出血合併症/虚血イベント/全死亡



	イベント						
≥25	772	729	614	482	367	243	43
<25	975	941	817	664	523	374	14



心臓血管外科ホットライン開設



心臓血管外科 医長
高島 範之

年の瀬も間近になって参りました。いつも一方ならぬお力添えにあずかり、誠にありがとうございます。本年もたくさんの患者様をご紹介いただきましたおかげで、開心術は100例に近い症例数を経験することができました。これもひとえに地域の先生方のご協力があったからこそ、感謝の念を禁じえません。

夏の湖東だよりもでも申し上げましたが、緊急で手術を必要とする症例が増えてきました。当科でもより多くの緊急症例を経験し、生死のはざまにいる患者様を救い出たく思っております。そのために、可能な限り早く当科に受け入れる必要があると考えております。その一つとして、心臓血管外科医に直接つながるホットラインを導入いたしました。これまでは病

院代表を経由するため、時間を要していたところを直接先生方とやり取りできるようになります。手術症例にあれば、可能な限り全症例を受け入れていきます。また疑問に思ったことや疾患の相談など手術以外のことでも広く受け付けていきたいと思っております。24時間365日対応していきますので、お役にたてましたら幸いです。

また、これまで心臓血管外科を支えてくれた森本政憲に代わり、11月13日からは南舘直志（みなみだて なおし、卒後7年目）が着任いたしました。急な担当変更となり、皆様にご迷惑をおかけすることとなりますが、今まで以上に東近江医療圏の方々にお役にたてるよう精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

赴任のごあいさつ

11月より湖東記念病院に赴任いたしました南舘直志と申します。岩手県出身で、東京医科歯科大学を卒業しました。その後、震災直後に仙台で初期研修を修了したのちに千葉西総合病院で一般外科を修練しました。約2年前に滋賀医大第二外科に入局しました。学生時代より滋賀医大の心臓外科がActiveなところに魅力を感じており、また琵琶湖や自然が豊かな滋賀県がとても好きです。地域に根差した医療を目指したいと思っております。よろしくお願いいたします。



心臓血管外科
南舘 直志

■循環器内科・心臓血管外科 外来担当表

	月	火	水	木	金	土	
循環器内科 ※予約制	午前	坂口	馬淵	村上名誉院長 (一般内科・循環器内科)	山路	村上名誉院長 (一般内科・循環器内科)	非常勤 (1,2,5週)
		山路	羽野	武田	前田	武田 藤田	田崎 (3週) 静脈瘤・ステントグラフト 西賀 (4週)
	午後	前田	馬淵 ※完全予約制 羽野 ※完全予約制	坂口	山路 ※完全予約制	馬淵	
不整脈科 ※予約制	午前			静田 (2週)		静田 (4週)	
心臓血管外科	午前			高島	南館	下肢静脈瘤 外来	

平成28年10月1日より午前診の受付が8:00~11:30となっております。

H29.11改訂

〈午前診〉受付 8:00~11:30 診察 9:00~12:00

〈午後診〉受付 13:00~15:00 診察 13:30~15:30

※月2回 京都大学医学部附属病院 不整脈科 静田先生が来院されます。

※ステントグラフトのご相談は田崎医師まで。

※ペースメーカー外来 毎月第3金曜日 午後(予約制)

※下肢静脈瘤外来 毎週土曜日(受付11:00まで)

■循環器内科外来・心臓血管外科外来について

平素は格別のご高配を賜り、また患者様をご紹介頂き厚く御礼申し上げます。

さて、循環器内科及び心臓血管外科外来についてご紹介させていただきます。循環器内科外来につきましては村上(名誉院長)・非常勤医師を除きまして、原則予約制となりますが、先生方よりご連絡頂きました際には、その医師が責任をもって診察させていただきます。

また、心臓血管外科に関しましても診察日以外でも可能な限り対応させていただきますのでいつでもご連絡下さい。

今後も地域医療機関との連携と患者サービス向上に努めて参りますので、よろしくごお願い申し上げます。ご質問等がございましたら、お気軽に地域医療連携室までお問い合わせください。

地域医療連携室



■ご案内

○電車でお越しの方

JR能登川駅よりタクシーで20分、バスで25分
(市ヶ原〔角能線〕行き・湖東記念病院前下車)

近江鉄道八日市駅よりタクシーで20分、バス25分
(僧坊〔湖東線〕行き・湖東記念病院前下車)

○車でお越しの方

名神高速道路 八日市インターより15分
湖東三山スマートインターより5分

駐車場：150台

料金：無料

※駐車場内での事故、盗難、破損につきましては病院側では一切責任を負いませんのでご了承ください。

心臓血管センター 湖東記念病院

地域医療連携室 TEL 0749-45-4512
FAX 0749-45-3335

ホームページアドレス
URL <http://www.subarukai.jp/>

〒527-0134 滋賀県東近江市平松町2番地1
TEL 0749-45-5000 FAX 0749-45-5001